



「津軽海峡交流の歴史とこれからの青函圏交流」

地域の優れた自然景観や伝統文化、多種多様な魅力ある食など、この圏域の特色ある資源を活かし、様々な主体による交流・連携の取組の一層の促進を図り、活力ある青函圏の形成に繋げるための方策を探ります。

日時

平成29年12月19日(火)
14:30~17:20(開場14:00)

場所

フォーポイントバイシェラトン函館
3階「カメラI」(函館市若松町14番10号)

第1部 講演会 14:35~16:00

講演1(14:35~15:05)

講師 **中園 裕 氏**

(青森県環境生活部県民生活文化課県史編さんグループ 主幹)

講演2(15:10~16:00)

講師 **小山内 豊彦 氏**

(公立大学法人青森県立保健大学社会福祉学科 特任教授)

第2部 パネルディスカッション 16:05~17:20

【テーマ】「地域資源を活かした青函連携・交流の可能性」

コーディネーター

小山内 豊彦 氏

オブザーバー

中園 裕 氏

パネリスト

道南歴史文化振興財団事務局長/函館市縄文文化交流センター館長 **田中 哲郎 氏**

2016年から埋蔵文化財の調査研究や縄文文化の普及啓発活動を行う道南歴史文化振興財団の事務局長。函館市縄文文化交流センターの館長も務める。縄文文化の魅力を多くの人に伝えるため、企画展や南かやべ縄文まつりなどの取り組みを行っている。

江差追分会 事務局長

小田島 訓 氏

昭和48年江差町役場に勤務。平成27年役場退職と同時に江差追分会の事務局長に就任。北海道を代表する民謡「江差追分」の普及啓発事業や次世代への文化継承に精力的に取り組んでいる。

弘前大学 副理事(社会連携担当)

森 樹男 氏

弘前大学社会人文学部教授。専門は経営学で、地域企業と連携した課題解決型授業を実践。また、学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム企画運営委員長や津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議議長などを務めている。

青森県観光連盟 専務理事

高坂 幹 氏

平成29年3月まで青森県庁に勤務し観光国際戦略局長として青函DCをはじめ青森県の観光振興に取り組む。同年4月から同連盟の専務理事に着任。ICTによる情報発信や観光開発、インバウンド対応強化など積極的な組織改革に努めている。

講師兼オブザーバー略歴

中園 裕 氏

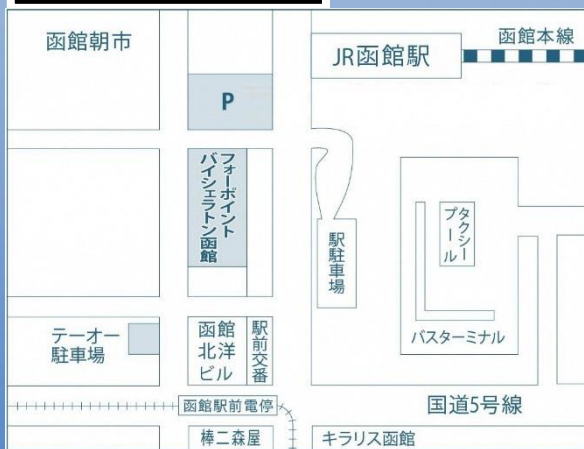
神奈川県生まれ、青森県民になって18年。専門は日本近現代史(博士)。青森県史の編さんを基軸に、新聞や雑誌の連載に取り組み、講義や講演を重ね、写真集の編集を続けている。「地域史を知ることによって地域に愛着が持てる。地域の活性化は地域の歴史を知ることから」が持論。

講師兼コーディネーター略歴

小山内 豊彦 氏

昭和30年青森市生まれ。昭和54年4月、青森県庁に入庁。平成28年3月、企画政策部長で退職。その間、経済企画庁やNTTに出向。県では企画関連の仕事が長く、青函インターブロック交流圏構想にも計4年間携わっている。現在は青森県立保健大学特任教授として地域学を研究。

会場周辺マップ



※公共交通機関でのご来場にご協力ください。

主催:青函圏交流・連携推進会議

<http://www.jomon.ne.jp/~seikan01/>



お申し込み・お問い合わせは裏面をご覧ください

青函圏フォーラム 参加申込書

12月12日(火)までに下記へお申し込みください。

<青函圏交流・連携推進会議 事務局>

(北海道側事務局)

FAX : 0138-47-9203

メール : oshima.chisei2@pref.hokkaido.lg.jp

(青森県側事務局)

FAX : 017-734-8035

メール : kotsu@pref.aomori.lg.jp

電子メールで申込の場合は、メール本文に、企業・団体名、電話番号、参加者の部署・役職、氏名、フォーラム及び懇親会の出欠をご記入ください。

フォーラム終了後に懇親会を開催します。是非ご参加ください。
時間:17:30~18:30
会場:フォーポイントバイシエラトン函館
3階「カメラII」(フォーラム会場隣り)
会費:3,000円

企業・団体名	電話番号

部署・役職名	氏名	フォーラム	懇親会

※「フォーラム」及び「懇親会」の欄に、出席の場合は“○”を、欠席の場合は“×”をご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報は、本事業の実施・運営のみに利用します。

【お問い合わせ先】青函圏交流・連携推進会議 事務局
(北海道渡島総合振興局地域創生部地域政策課内)
TEL:0138-47-9429

青函圏交流・連携推進会議とは

昭和63年の青函トンネル開業を契機に、青森県と北海道南地域(渡島・檜山地方)との交流拡大と連携強化を図ることを目的として、青函圏域の産学官が連携し設立した「青函インターブロック交流圏構想推進協議会」を前身としています。

平成23年度より、「青函圏交流・連携推進会議」に名称を改めるとともに、交流の裾野を広げるため、既存の構成団体に加えて交流・連携に取り組む民間の団体などに新たにご参加いただき、青函圏の交流・連携を推進する活動を行っています。

事務局：青森県、北海道